

## 「第8回曹洞宗ハワイ・北アメリカ檀信徒大会」報告

国際課だより

平成24年3月10日、11日の2日間にわたり、オアフ島、アラモアナホテルを会場に曹洞宗ハワイ・北アメリカ檀信徒大会が開催された。今大会はハワイ側が開催地となり、第1回となる昭和63年10月9日に両大本山北米別院禅宗寺で開催された大会から、数えること8回目となった。今大会のテーマは、『<sup>ナーチャリング</sup> <sup>ピース</sup> <sup>スルー</sup> <sup>アロー</sup> <sup>ブディスト</sup> <sup>フェース</sup> Nurturing Peace Through Our Buddhist Faith ~仏教を通じて平和・平穏な心を育もう~』である。

大会前日は、米国本土と日本からの参加者を対象とした、オアフ島内にある管内特別寺院の拝登ツアーが行なわれた。両大本山ハワイ別院正法寺を皮切りに、ワイパフ大陽寺、アイエア太平寺の3カ寺を訪問し、ハワイにおける日系寺院の実情と様子を目の当たりにし、翌日からの本大会に臨んだ。

大会初日の開会式は、渡辺憲市曹洞宗ハワイ寺院連盟会長の開会宣言に始まり、開会諷経（導師：駒形宗彦ハワイ国際布教総監）の後、釜田隆文教化部長より、祝辞を頂戴した。開会式の後、北アメリカ国際布教総監部、国際センター、ハワイ国際布教総監部の順に、それぞれの活動内容をスライドショーで発表した。

午後の部では、まず田辺ジョージハワイ大学名誉教授による基調講演があり、仏教を篤く信仰し、興隆に努めた聖徳太子を取り上げ、とりわけ「十七条の憲法」のそれぞれの条項には、仏教の教えが根付いていて、現代に生きる私たちの生活にも十分反映する事が可能であると述べられた。

引き続いて行なわれたパネルディスカッションでは、藤田一照国際センター所長、ルメ一大岳北アメリカ国際布教総監、小島秀明北アメリカ国際布教総監部書記、駒形フェイ曹洞宗ハワイ寺族会会長の4人がパネリストとして登壇し、直前の基調講演の内容を踏まえ、「それぞれの個人的・社会的な立場で、どのようにしたら平和・平穏な関係を自分自身や他者にもたらし、実生活に反映させる事ができるか。」という大きなテーマについて各々が意見を論じた。

大会初日の夜は、歓迎晩餐会を開き、清興として、フラダンスと日本舞踊、太鼓パフォーマンスが行なわれ、最後に平和音頭と福島音頭を参加者全員で踊り、散会した。

大会第2日目は、ちょうど1年前に発生した東日本大震災で亡くなられた方がたの一周忌法要として、「東日本大震災物故者追悼法要」（導師：町田時保前ハワイ国際布教総監）が執り行なわれた。法要中には、犠牲となられた方がたのご冥福と、被災地の早期復興を祈願し、100人を超える参加者と共に黙祷を捧げた。海を越えた彼の地にいるハワイ・北アメリカの檀信徒にとっても、日本の被災者を想う気持ちに何ら変わりなく、大会参加者にとっては、改めてこの度の大震災が思い起こされ、忘れてはならない出来事として心に刻まれた法要となった。

法要後の班別会では、3つのグループに分かれ、「仏教の教えを通して、どのようにしたら平穏で、安心のこころを芽生え、育てることができるのか」、「無常の世の中で生きてい

くのは大変困難なことだが、特に大惨事に対峙した時、どのようにしたら心を落ち着かせ、冷静さを保つことが出来るか」、「仏教の教えはどのように社会に貢献出来るか。仏教徒として、他者の人生にどのように役に立てられるか」と、それぞれテーマを定め、活発な議論が交わされた。

班別会の総括として、田辺名誉教授からは、相手の立場を尊重し認識することや、自分の考えが正しいとは限らず、相手の立場を認め、重んじることが重要だという意見を頂戴した。駒形総監からは、それぞれには立場があるが、自分自身を見つめ直すことができたら、相手を敬う気持ちを育むことができる。「我」を捨て、本来の自分の姿に戻れば、相手の立場を認識し、共感することができるという意見を頂戴した。

閉会式では、閉会諷経（導師：ルメー大岳北アメリカ国際布教総監）のあと、大会参加証授与式、記念品贈呈式が行われ、三好ハワード北米別院禅宗寺理事長からの謝辞で締めくくられた。その後のアロハ昼餐会では、最後に「Aloha 'Oe」を全員で大合唱し、本大会の全日程が終了した。

末筆となったが、本大会を運営するにあたり、参加された北米、日本、ハワイの檀信徒の方がた、北アメリカ国際布教総監部役職員、国際センター役職員の方がたにご助力いただき、盛会裏に円成できたことに対し、重ねて御礼申し上げる次第である。

(ハワイ国際布教総監部庶務担当 篠原壽王記)



パネルディスカッション



追悼法要



班別会 総会



アロハ昼餐会で「Aloha' Oe」合唱